

三菱シーケンサ テクニカルニュース

No. FA-D-0161 1/7

2013年 12月発行

表 題 MELSEC-QシリーズFlashカードQ2MEM-2MBF生産中止のお知らせ

適用機種 Q2MEM-2MBF

三菱シーケンサMELSEC-Qシリーズに格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

このたび、長い間ご愛顧いただいておりますMELSEC-QシリーズFlashカードのうち、Q2MEM-2MBFの生産を下記のとおり中止させていただきますので、ご了承の程宜しくお願いいたします。

なお、既にテクニカルニュースFA-D-0154にてご案内のとおりQ2MEM-4MBFについても2014年3月15日で生産を中止させていただきますので、ご了承の程宜しくお願いいたします。

本テクニカルニュースで使用するCPUユニットの総称を下記に示します。

CPUユニット	形名
ハイパフォーマンスモデルQCPU	Q02CPU, Q02HCPU, Q06HCPU, Q12HCPU, Q25HCPU
プロセスCPU	Q02PHCPU, Q06PHCPU, Q12PHCPU, Q25PHCPU
二重化CPU	Q12PRHCPU, Q25PRHCPU
ユニバーサルモデルQCPU	Q02UCPU, Q03UDCPU, Q03UDVCPU, Q03UDECPU, Q04UDHCPU, Q04UDVCPU, Q04UDEHCPU, Q06UDHCPU, Q06UDVCPU, Q06UDEHCPU, Q10UDHCPU, Q10UDEHCPU, Q13UDHCPU, Q13UDVCPU, Q13UDEHCPU, Q20UDHCPU, Q20UDEHCPU, Q26UDHCPU, Q26UDVCPU, Q26UDEHCPU, Q50UDEHCPU, Q100UDEHCPU
ユニバーサルモデル高速タイプQCPU	Q03UDVCPU, Q04UDVCPU, Q06UDVCPU, Q13UDVCPU, Q26UDVCPU
ユニバーサルモデルプロセスCPU	Q04UDPVCPU, Q06UDPVCPU, Q13UDPVCPU, Q26UDPVCPU

1. 生産中止機種（1機種）

品名	形名	備考
Flashカード	Q2MEM-2MBF	容量2Mバイト

2. 生産中止時期

受注生産移行 : 2014年9月15日
受注締め切り : 2014年11月15日
生産中止日 : 2014年12月15日

3. 生産中止理由

使用部品の一部が入手困難な状況であり、製品の継続生産に支障をきたすことが予想されるため。

4. 修理対応

修理対応期間 : 2021年12月15日（生産中止後、7年間）

5. 代替機種

Flashカードは、部品の生産中止および市場終息が進んでいるため、互換品の開発が困難となっております。申し訳ありませんが、SRAMカード(Q2MEM-1MBS, Q2MEM-2MBS, Q3MEM-4MBS, およびQ3MEM-8MBS)、またはCPUユニットの内蔵メモリ（プログラムメモリ、標準RAM、および標準ROM）での置換えをご検討願います。（「7. Q2MEM-2MBFの代替品について」参照）

6. お客様へのお願い

Q2MEM-2MBFの生産中止にあたり、下記のご対応をお願いします。

- (1) 「2. 生産中止時期」に記載の受注締切り日までに該当機種の子備品のご購入をお願いします。
- (2) Q2MEM-2MBFから、SRAMカードまたはCPUユニットの内蔵メモリへの置換えをご検討願います。
- (3) 新規にCPUユニットを購入される場合は、ユニバーサルモデル高速タイプQCPUまたはユニバーサルモデルプロセスCPUの採用をご検討願います。

7. Q2MEM-2MBFの代替品について

7.1 各CPUユニットの種別において使用可能な代替品

- (1) ハイパフォーマンスモデルQCPU、プロセスCPUまたは二重化CPU*3をご使用の場合

下記の代替品が使用可能ですので、置換えをご検討願います。

項目		容量	バッテリーバックアップ	
現行品	Q2MEM-2MBF	2Mバイト	不要	
代替品	CPUユニットの内蔵メモリ	プログラムメモリ	112K~1008Kバイト*1	要
		標準RAM	64K~256Kバイト*1	要
		標準ROM	112K~1008Kバイト*1	不要
	SRAMカード	Q2MEM-1MBS	1Mバイト	要
		Q2MEM-2MBS	2Mバイト	要
		Q3MEM-4MBS*2	4Mバイト	要

*1：容量はCPUユニットの形名ごとに異なります。

*2：現在出荷中のCPUユニットでは使用できませんが、シリアルNo.の上5桁が“16021”以降（2014年2月以降に出荷）のCPUユニットで使用可能となりますので、CPUユニットの置換えをご検討願います。シリアルNo.はユニット側面の定格銘板のSERIAL欄でご確認ください。

*3：二重化CPUをご使用の場合、制御系と待機系のどちらかを別の代替品に置き換えるとエラーとなりますので、置き換える際には制御系と待機系を同じ代替品へ同時に置き換え願います。

- (2) ユニバーサルモデルQCPU（ユニバーサルモデル高速タイプQCPUおよびユニバーサルモデルプロセスCPUを除く）をご使用の場合

下記の代替品が使用可能ですので、置換えをご検討願います。

項目		容量	バッテリーバックアップ	
現行品	Q2MEM-2MBF	2Mバイト	不要	
代替品	CPUユニットの内蔵メモリ	プログラムメモリ	80K~4000Kバイト*1	不要
		標準RAM	128K~1792Kバイト*1	要
		標準ROM	512K~16384Kバイト*1	不要
	SRAMカード	Q2MEM-1MBS	1Mバイト	要
		Q2MEM-2MBS	2Mバイト	要
		Q3MEM-4MBS	4Mバイト	要
		Q3MEM-8MBS	8Mバイト	要

*1：容量はCPUユニットの形名ごとに異なります。

(3) ユニバーサルモデル高速タイプQCPUまたはユニバーサルモデルプロセスCPUをご使用になる場合

CPUユニットをユニバーサルモデル高速タイプQCPUまたはユニバーサルモデルプロセスCPUへ置き換えることで、Q2MEM-2MBFの代替品として下記が使用可能となりますので、CPUユニットの置換えをご検討願います。

項目		容量	バッテリーバックアップ	
代替品	CPUユニットの内蔵メモリ	プログラムメモリ	120K~1040Kバイト*1	不要
		標準RAM	192K~1280Kバイト*1*2	要
		標準ROM	1025.5K~4102Kバイト*1	不要
	SDメモリカード	L1MEM-2GBSD	2Gバイト	不要
		L1MEM-4GBSD	4Gバイト	不要

*1：容量はCPUユニットの形名ごとに異なります。

*2：拡張SRAMカセットを使用した場合、標準RAMを拡張SRAMカセットの容量分(最大8Mバイト)拡張可能です。

7.2 各代替品に格納可能なファイル

(1) ハイパフォーマンスモデルQCPU、プロセスCPUまたは二重化CPUをご使用の場合

Q2MEM-2MBFに格納可能なファイルは下記の代替品に格納可能ですので、置換えに際してご参照願います。

○：格納可能，×：格納不可，△：ファイル1本のみ格納可能

ファイル種別	ファイル名と拡張子	プログラムメモリ	標準RAM	標準ROM	SRAMカード
パラメータ	PARAM. QPA	○	×	○	○
インテリジェント機能ユニットパラメータ	IPARAM. QPA	○	×	○	○
プログラム	***. QPG	○	×	○	○
デバイスコメント	***. QCD	○	×	○	○
デバイス初期値	***. QDI	○	×	○	○
ファイルレジスタ	***. QDR	×	△	×	○
ブート設定ファイル	AUTOEXEC. QBT	○	×	○	○
リモートパスワード	00000000. QTM	○	×	○	○

(2) ユニバーサルモデルQCPU（ユニバーサルモデル高速タイプQCPUおよびユニバーサルモデルプロセスCPUを除く）をご使用の場合

Q2MEM-2MBFに格納可能なファイルは下記の代替品に格納可能ですので、置換えに際してご参照願います。

○：格納可能，×：格納不可，△：ファイル1本のみ格納可能

ファイル種別	ファイル名と拡張子	プログラムメモリ	標準RAM	標準ROM	SRAMカード
パラメータ	PARAM. QPA	○	×	○	○
インテリジェント機能ユニットパラメータ	IPARAM. QPA	○	×	○	○
プログラム	***. QPG	○	×	○	○
デバイスコメント	***. QCD	○	×	○	○
デバイス初期値	***. QDI	○	×	○	○
ファイルレジスタ	***. QDR	×	△	×	○
ブート設定ファイル	AUTOEXEC. QBT	○	×	○	○
リモートパスワード	00000000. QTM	○	×	○	○
バックアップデータファイル	MEMBKUPO. QBP	×	×	×	○
ドライブ見出し文	QN. DAT	○	△	○	○

(3) ユニバーサルモデル高速タイプQCPUまたはユニバーサルモデルプロセスCPUをご使用の場合

Q2MEM-2MBFに格納可能なファイルは下記の代替品に格納可能ですので、置換えに際してご参照願います。

○：格納可能，×：格納不可

ファイル種別	ファイル名と拡張子	プログラムメモリ	標準RAM	標準ROM	SDメモリカード
パラメータ	PARAM. QPA	○	○	○	○
インテリジェント機能ユニットパラメータ	IPARAM. QPA	○	○	○	○
プログラム	***. QPG	○	○	○	○
デバイスコメント	***. QCD	○	○	○	○
デバイス初期値	***. QDI	○	○	○	○
ファイルレジスタ	***. QDR	×	○	×	×
ブート設定ファイル	AUTOEXEC. QBT	○	○	○	×
リモートパスワード	00000000. QTM	○	○	○	○
バックアップデータファイル	MEMBKUPO. QBP	×	×	×	○
ドライブ見出し文	QN. DAT	○	○	○	○

8. 用途ごとの代替方法

8.1 ブート運転用にご使用の場合

下記のいずれかの代替方法をご検討願います。

- ・Q2MEM-2MBFを、SRAMカード（ユニバーサルモデル高速タイプQCPUまたはユニバーサルモデルプロセスCPUをご使用の場合はSDメモリカード）にて置き換え願います。
- ・ブート運転に使用しているファイルを、CPUユニットのプログラムメモリまたは標準ROMに移動願います。

8.2 ファイルレジスタ格納用にご使用の場合

ファイルレジスタをSRAMカードまたは標準RAMに作成することをご検討願います。（ユニバーサルモデル高速タイプQCPUおよびユニバーサルモデルプロセスCPUは標準RAMのみです。）SRAMカードおよび標準RAMのデータを電源OFF時に保持するために、バッテリーバックアップしてください。バッテリーバックアップを行わない場合は、デバイス初期値によりファイルレジスタを初期化することをご検討願います。

8.3 「メモリカードによるCPUユニット交換機能」をご使用の場合

ユニバーサルモデルQCPU（ユニバーサルモデル高速タイプQCPおよびユニバーサルモデルプロセスCPUを除く）をご使用の場合は、SRAMカードに置き換えることをご検討願います。CPUユニットから取りはずした際にデータを保持するため、SRAMカードはバッテリーバックアップしてください。また、バックアップファイルを長期間保管する場合は、バッテリー切れによるデータ消失を避けるために、パソコンなどにファイルをコピーして保管することをご検討願います。

ユニバーサルモデル高速タイプQCPUまたはユニバーサルモデルプロセスCPUをご使用の場合は、SDメモリカードに置き換えることをご検討願います。

8.4 設定ファイル、プログラムファイルなどの持ち運び用としてご使用の場合

(1) ハイパフォーマンスモデルQCPU、プロセスCPU、二重化CPUまたはユニバーサルモデルQCPU(ユニバーサルモデル高速タイプQCPUおよびユニバーサルモデルプロセスCPUを除く)をご使用の場合

下記のいずれかの方法で代替することをご検討願います。

- ・SRAMカードにて代替して持ち運びください。ファイルの内容を保持するためにSRAMカードをバッテリーバックアップしてください。
- ・プログラミングツールでCPUユニットからパソコンにファイルを読み込み、SDメモ리카ードなどの媒体でデータを持ち運びください。運搬先では、プログラミングツールでパソコンからCPUユニットへファイルを書き込んでください。

(2) ユニバーサルモデル高速タイプQCPUまたはユニバーサルモデルプロセスCPUをご使用の場合

SDメモ리카ードで代替することを検討願います。

9. 代替品へ置き換える際の注意点

Q2MEM-2MBFに格納しているファイルを代替品へ移動させてご使用になる場合、ファイル格納場所のメモリ種別(ドライブ番号)が変化することにより、下記のような設定変更が必要となります。

9.1 ファイルレジスタの格納場所を変更した場合

PCパラメータの“PCファイル設定”で“ファイルレジスタ”の項目をご確認願います。“対象メモリ”が変更後のファイルレジスタ格納場所と異なる場合は、設定を変更願います。

9.2 デバイス初期値の格納場所を変更した場合

PCパラメータの“PCファイル設定”で“デバイス初期値”の項目をご確認願います。“対象メモリ”が変更後のデバイス初期値格納場所と異なる場合は、設定を変更願います。

9.3 デバイスコメントの格納場所を変更した場合

PCパラメータの“PCファイル設定”で“命令で使用するコメントファイル”の項目をご確認願います。“対象メモリ”が変更後のデバイスコメント格納場所と異なる場合は、設定を変更願います。

9.4 ブート設定ファイルの格納場所を変更した場合

PCパラメータの“ブートファイル設定”をご確認願います。ファイルの“転送元”が変更後のファイル格納場所と異なる場合は、設定を変更願います。

9.5 パラメータの格納場所を変更した場合

CPUユニットの種別がハイパフォーマンスモデルQCPU、プロセスCPU、または二重化CPUの場合は、パラメータファイルの格納場所(パラメータ有効ドライブ)を、ディップスイッチで設定しています。ディップスイッチのSW2およびSW3を、変更後のパラメータ格納場所に設定してください。

SW2	SW3	パラメータ有効ドライブ
OFF	OFF	プログラムメモリ
ON	OFF	SRAMカード
OFF	ON	Flashカード/ATAカード
ON	ON	標準ROM

ユニバーサルモデルQCPU、ユニバーサルモデル高速タイプQCPUおよびユニバーサルモデルプロセスタイプCPUでは、パラメータ有効ドライブを自動検出しておりますので、設定は必要ありません。

9.6 プログラム中の命令でファイル格納場所を指定している場合

プログラムで下記の命令を使用している場合は、命令のパラメータで指定しているファイルの格納場所を移動させていないか、ご確認ください。移動させている場合は、パラメータで指定しているドライブ番号を、移動後の格納場所にあわせて変更願います。

- QDRSET, QDRSETP : ファイルレジスタ用ファイルのセット
- QCDSET, QCDSETP : コメント用ファイルのセット
- PLOADP : メモリカードからのプログラムロード
- PSWAPP : ロード+アンロード

詳細は、「MELSEC-Q/L プログラミングマニュアル（共通命令編）」をご参照願います。

9.7 電源OFF時のデータバックアップについて

標準RAMを代替品としてご使用になる場合は、電源OFF時にデータを保持するためにCPUユニットをバッテリーバックアップしてください。

ハイパフォーマンスモデルQCPU、プロセスCPU、または二重化CPUをご使用の場合は、プログラムメモリを代替品としてご使用になる場合も、CPUユニットのバッテリーバックアップが必要になります。

SRAMカードを代替品としてご使用になる場合は、電源OFF時にデータを保持するためにSRAMカードをバッテリーバックアップしてください。

詳細は、「QCPUユーザーズマニュアル（ハードウェア設計・保守点検編）」をご参照願います。

三菱電機株式会社 〒100-8310 東京都千代田区丸の内2-7-3 (東京ビル)

お問い合わせは下記へどうぞ

本社機器営業部	〒100-8310	東京都千代田区丸の内2-7-3 (東京ビル)	(03) 3218-6760
北海道支社	〒060-8693	札幌市中央区北二条西4-1 (北海道ビル)	(011) 212-3794
東北支社	〒980-0011	仙台市青葉区上杉1-17-7 (仙台上杉ビル)	(022) 216-4546
関東支社	〒330-6034	さいたま市中央区新都心11-2 (明治安田生命さいたま新都心ビル)	(048) 600-5835
新潟支店	〒950-8504	新潟市中央区東大通2-4-10 (日本生命ビル)	(025) 241-7227
神奈川支社	〒220-8118	横浜市西区みなとみらい2-2-1 (横浜ランドマークタワー)	(045) 224-2624
北陸支社	〒920-0031	金沢市広岡3-1-1 (金沢パークビル)	(076) 233-5502
中部支社	〒451-8522	名古屋市中区牛島町6-1 (名古屋ルーセントタワー)	(052) 565-3314
豊田支店	〒471-0034	豊田市小坂本町1-5-10 (矢作豊田ビル)	(0565) 34-4112
関西支社	〒530-8206	大阪市北区堂島2-2-2 (近鉄堂島ビル)	(06) 6347-2771
中国支社	〒730-8657	広島市中区中町7-32 (ニッセイ広島ビル)	(082) 248-5348
四国支社	〒760-8654	高松市寿町1-1-8 (日本生命高松駅前ビル)	(087) 825-0055
九州支社	〒810-8686	福岡市中央区天神2-12-1 (天神ビル)	(092) 721-2247

三菱 FA www.MitsubishiElectric.co.jp/fa/

メンバー登録無料!

インターネットによる情報サービス「三菱電機FAサイト」

三菱電機FAサイトでは、製品や事例などの技術情報に加え、トレーニングスクール情報や各種お問い合わせ窓口をご提供しています。また、メンバー登録いただくとマニュアルやCADデータ等のダウンロード、eラーニングなどの各種サービスをご利用いただけます。

三菱電機FA機器電話、FAX技術相談

●電話技術相談窓口 受付時間*1 月曜～金曜 9:00～19:00、土曜・日曜・祝日 9:00～17:00

対象機種		電話番号	
シーケンサ	MELSEC-Q/L/QnA/Aシーケンサー一般(下記以外)	052-711-5111	
	MELSEC-F FX/Fシーケンサ全般	052-725-2271**2	
	ネットワークユニット/シリアルコミュニケーションユニット	052-712-2578	
	アナログユニット/温調ユニット/温度入力ユニット/高速カウンタユニット	052-712-2579	
	MELSOFT シーケンサプログラミングツール	MELSOFT GXシリーズ SW□IVD-GPPA/GPPQなど	052-711-0037
	MELSOFT 統合エンジニアリング環境	MELSOFT iQ Works (Navigator)	
	MELSOFT 通信支援ソフトウェアツール	MELSOFT MXシリーズ SW□D5F-CGSKP/OLEX/XMOPなど	052-712-2370
	MELSECパソコンボード	Q80BDシリーズなど	
	C言語コントローラ/MESインタフェースユニット/高速データローユニット		
	iQ Sensor Solution		
表示器	MELSEC計装/Q二重化	プロセスCPU 二重化CPU MELSOFT PXシリーズ	052-712-2830**2
	MELSEC Safety	安全シーケンサ (MELSEC-QSシリーズ) 安全コントローラ (MELSEC-WSシリーズ)	052-712-3079**2
	電力計測ユニット/絶縁監視ユニット	QE8□シリーズ	052-719-4557**2**3 052-725-2271**2
サーボ/位置決めユニット/モーションコントローラ	GOT-F900/DUシリーズ		
	GOT2000/1000/A900シリーズなど	MELSOFT GTシリーズ	052-712-2417
センサレスサーボ	MELSERVOシリーズ		
	位置決めユニット/シンプルモーションユニット		
	モーションCPU(Q/Aシリーズ)		052-712-6607
インバータ	C言語コントローラ/インタフェースユニット(Q173SCCF)/ポジションボード		
	MELSOFT MTシリーズ/MRシリーズ		
三相モータ	FR-E700EX/MM-GKR		052-722-2182
ロボット	FREQROLシリーズ		052-722-2182
低圧開閉器	三相モータ225フレーム以下		0536-25-0900**5**3
	MELFAシリーズ		052-721-0100
低圧遮断器	MS-Tシリーズ/MS-Nシリーズ		052-719-4170
	US-Nシリーズ		
電力管理用計器	ノーヒューズ遮断器/漏電遮断器/MDUブレーカ/気中遮断器(ACB)など		052-719-4559
省エネ支援機器	電力計測/計器用変成器/指示電気計器/管理用計器/タイムスイッチ		052-719-4556
小容量UPS(5kVA以下)	EcoServer/E-Energy/検針システム/エネルギー計測ユニット/ B/NETなど		052-719-4557**2**3
	FW-Sシリーズ/FW-Vシリーズ/FW-Aシリーズ/FW-Fシリーズ		084-926-8300**4**3

※1: 春季・夏季・年末年始の休日を除く ※2: 金曜は17:00まで ※3: 土曜・日曜・祝日を除く ※4: 月曜～金曜の9:00～16:30
 ※5: 月曜～木曜の9:00～17:00と金曜の9:00～16:30

●FAX技術相談窓口 受付時間**6 9:00～16:00(受信は常時**7)

対象機種	FAX番号
上記電話技術相談対象機種(下記以外)	052-719-6762
電力計測ユニット/絶縁監視ユニット(QE8□シリーズ)	084-926-8340
三相モータ225フレーム以下	0536-25-1258**8
低圧開閉器	0574-61-1955
低圧遮断器	084-926-8280
電力管理用計器/省エネ支援機器/小容量UPS(5kVA以下)	084-926-8340

三菱電機FAサイトの「仕様・機能に関するお問い合わせ」もご利用ください。
 ※6: 土曜・日曜・祝日、春季・夏季・年末年始の休日を除く ※7: 春季・夏季・年末年始の休日を除く
 ※8: 月曜～木曜の9:00～17:00と金曜の9:00～16:30(受信は常時(春季・夏季・年末年始の休日を除く))

安全に関するご注意 本テクニカルニュースに記載された製品を正しくお使いいただくためご使用前に必ず「マニュアル」をよくお読みください。